

「柑橘栽培で地元園地を守る」

松澤 祐耶 (38歳)
(伊方町)

新規参入



1 就農の動機・理由

地元の非農家出身であり、別の職業に就いていた頃から、柑橘栽培や農業に興味を持ち、JAでの研修を経て就農した。生まれ育った地元で、柑橘が身近にある環境だったことも就農を考える一因となった。

また、後継者不足や高齢化による耕作放棄地が増えていることも耳にし、これまで地元の方々が苦勞して守ってきた園地を少しでも維持・管理していければという思いもあった。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和3年)	将来の経営 (令和6年)
労働力	男1人(本人)	男1人(本人) 女1人(妻) 臨時雇用1人	男1人(本人) 女1人(妻) 臨時雇用3人
経営耕地	樹園地 110a	樹園地 127a	樹園地 185a
経営内容	不知火 38a	不知火 40a	不知火 60a
	清見 17a	清見 30a	清見 75a
	サンフルーツ 13a	サンフルーツ 18a	サンフルーツ 18a
	天草 15a	天草 18a	天草 17a
	甘平 16a	甘平 15a	甘平 15a
	ボンカン 6a 甘夏柑 5a	ボンカン 6a	

○農業用施設

農業用倉庫 1棟

○主要農業機械

軽トラック 1台

動力噴霧器 1台

刈払機 2台

電動ばさみ 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県伊方町

職歴 中古車販売

日本郵政株式会社配達

就農研修歴

JAにしよう (H31.1.7~R2.4.6)

就農年月 令和2年4月

(2) 就農時の思い

農業を始めるにあたり、私の考えを理解し、協力賛同してくれた家族をはじめ、地元の方達とのコミュニケーションを大切にしながら出来ることからコツコツと農業に取り組んでいきたいと思った。

栽培技術面での不安はあったが、分からないことは、地元の指導員や農家など周りに聞きやすかったのが良かった。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

JAでの1年3か月間の研修や地元

同志会、後継者の技術講座などで習得した。

(2) 資金の準備

自己資金、各種補助事業、農業次世代人材投資事業（準備型）（経営開始型）を活用。

(3) 農地・住宅の確保

J Aの研修受入れ農家から農地情報を収集した。

(4) その他苦労したこと

長いスパンでの計画立案に苦労した。農作業の進行度や取り組まなければならないことなど、経験を積むことによって段々と分かってきた。

5 農業経営の特徴

不知火、清見、サンフルーツ、天草、甘平、ポンカンの品種を栽培し、労働力の分散を図っている。

また、苗木を育て改植を進め、若返りに取り組んでいる。園地整備など管理面でも力を入れている。

6 これからの夢

鳥獣害対策や耕作放棄地を防ぎ、地元の園地を守っていきたい。令和3年1月から、妻も一緒に農業をしていくようになり、今後、規模拡大や品質向上に共に取り組んでいきたい。

7 成功したキーポイント

地道に農業に取り組んできたことがキーポイントになっていると思う。

8 就農を目指す方へのアドバイス

地道に農業に取り組み、分からないことは周りに聞き、自分でも試してみることで。そして、経験を次に生かせるよ

うにすることだと思います。

○ 指導機関からのひとこと

きれいに管理されている樹園地ひとつを見てもコツコツと農業に取り組む姿勢が伺えます。ご夫婦での農業経営スタイルになることにより、一層の経営発展を期待いたします。

執筆機関

南予地方局産業経済部八幡浜支局地域農業育成室
電話番号 0894-23-0163



不知火のサンテ掛け作業